



空きハウスでほうれん草の栽培に取り組んでみましょう!

男鹿地区営農センター 佐藤 圭太

ほうれん草は10月から3月にかけて多く作付けされている品目で、冬期間のほうれん草は甘みがあり、人気がある定番野菜のひとつです。空いているパイプハウスなどがある方は、ぜひ栽培してみたいはいかがでしょうか？



●作型(※あくまでも目安です)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
○ ○	■					
	○ ○					
				○ ○		
						■

○ 播種 ■ 収穫

●お勧め品種

品種	特徴	べと病対抗性レース
スパイダーZ	一株重がとれ作業性に優れる。	1~11、13、15
トラッド7	葉軸が太く収量性が高い。	1~7、9、11、13、15、16
クロノス	土壌適応性が広く耐湿性にも強い。	
福兵衛	株張りの良い多収量品種で、葉肉も厚く収量性が高い。	1~12、14、15
ドンキー	立性で隣株との絡みが少なく、軸折れしにくいので作業性に優れる。在圃性も高い。	1~11、13、15、16

●害虫対策

殺虫剤	毒性	使用量	使用時期	使用方法	適用害虫	使用回数
フォース粒剤	劇物	900g/30坪	播種時	全面土壌混和	ケナガコナダニ ネキリムシ類	1
ダイアジノン粒剤5	普通	600g/30坪		作条土壌混和	タネバエ	
カスケード乳剤			4000倍 10ℓ/30坪	収穫 3日前まで	散布	ケナガコナダニ等

ほうれん草の作付け・出荷に興味のある方は、お気軽に営農担当職員までご相談ください